

## 第1章 調査の概要

### 1 調査の目的

平成9年6月16日、内閣総理大臣から男女共同参画審議会に対し、女性に対する暴力に関する確に対応するための基本的方策について諮問がなされ、これに対し、その基礎的部分を中心とした答申「女性に対する暴力のない社会を目指して」が平成11年5月27日に出されている。同答申は、女性に対する暴力を、「重大な社会的・構造的な問題であり、男女共同参画社会の実現を阻害するものである」とし、当面取り組むべき課題の一つとして、女性に対する暴力の実態や、それに対する人々の意識を把握するための調査の実施を提言している。これを踏まえ、本調査では、女性に対する暴力に関する国民の意識、被害の経験の態様、程度及び被害の潜在化の程度、理由について把握し、被害者が必要としている援助の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査項目

- (1) 夫婦間での暴行等について
- (2) つきまとい行為について
- (3) 痴漢について
- (4) 性的行為の強要について

### 3 調査対象

- (1) 母集団 全国20歳以上の男女
- (2) 標本数 4,500人
- (3) 抽出法 層化二段無作為抽出法

### 4 調査時期

平成11年9月～10月

### 5 調査方法

郵送留置訪問回収法(回収は、対象者自身が回収用封筒に回答済みの調査票を密封したものを、調査員が回収した。また、対象者が希望した場合には郵送回収とした。)

### 6 調査実施委託機関

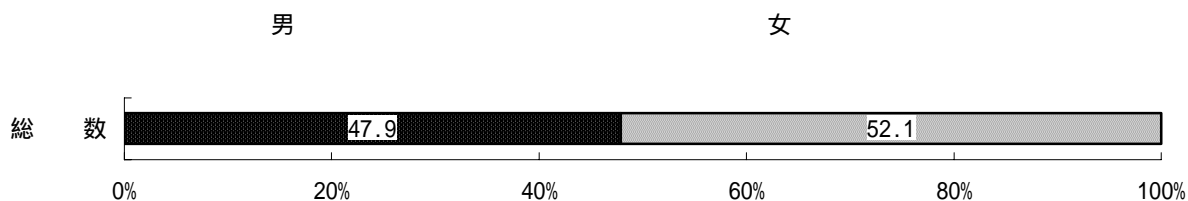
社団法人 新情報センター

### 7 回収結果

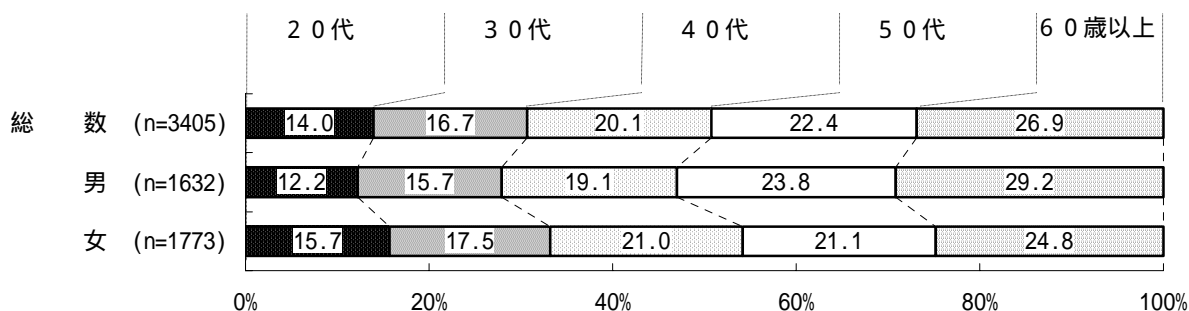
- (1) 有効回収数(率) 3,405人(75.7%)  
(内訳) 女性1,773人、男性1,632人
- (2) 回収不能数(率) 1,095人(24.3%)  
(回収不能理由内訳)  
転居144人、長期不在60人、一時不在231人、住所不明22人、拒否410人、その他228人(死亡、白票回収、代理記入など)

## 8 回答者の属性

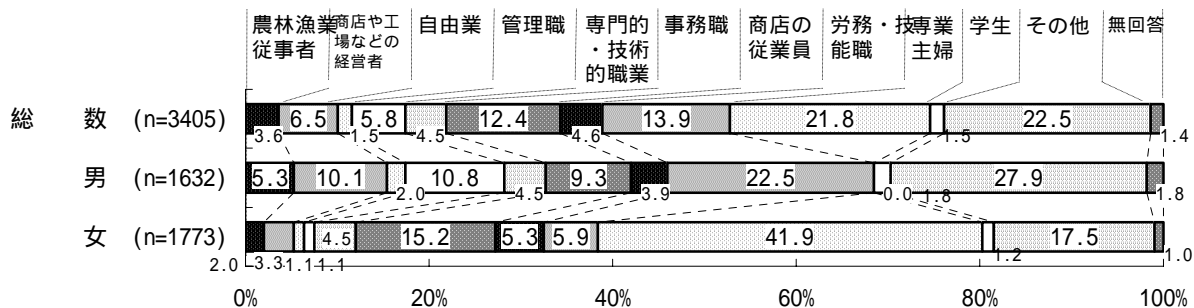
問1 あなたの性別はどちらですか。



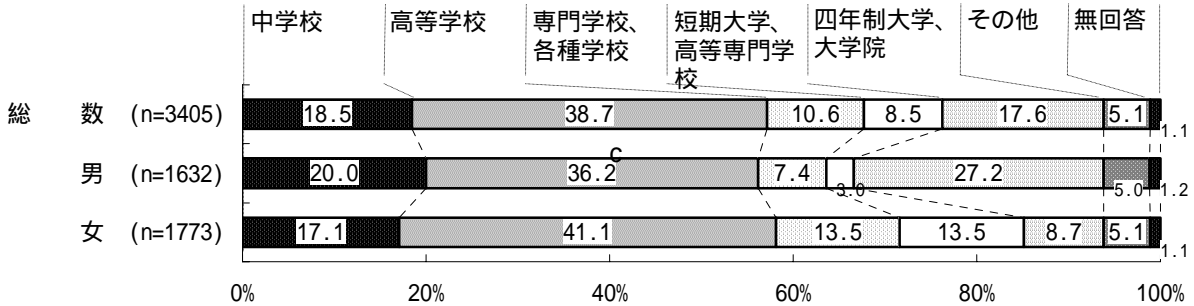
問2 あなたの年齢はおいくつですか。



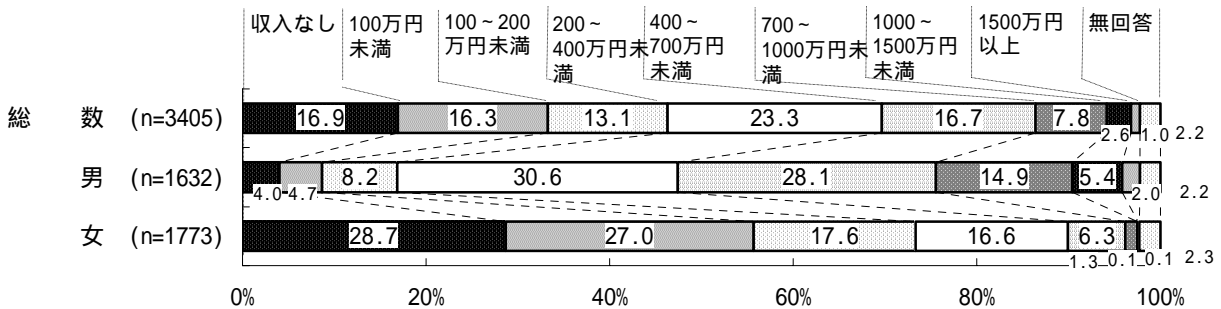
問3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。



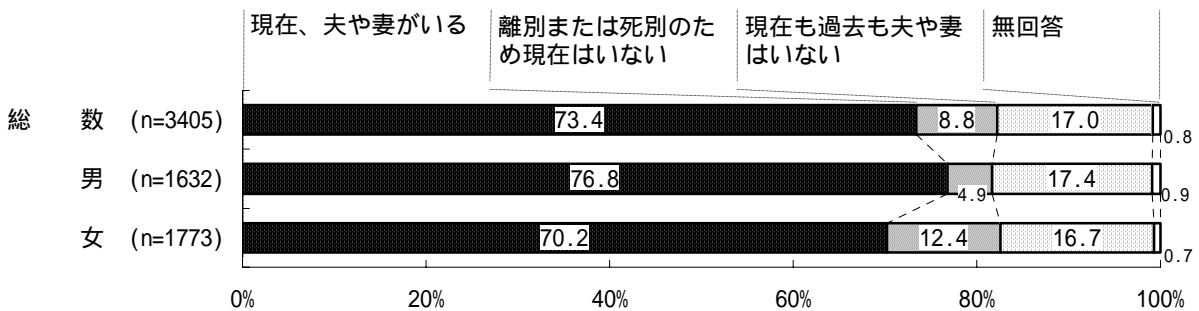
問4 あなたが最後に卒業した学校は次のどれですか。中退の場合は、最後に卒業した学校をお答えください。また、在学中の場合は、現在在学している学校をお答えください。



問5 あなたの平成10年中の年間収入(税込み)はいくらですか。年金や資産収入などすべての収入を含めてください。(あなたの配偶者については、問10でお答えください。)

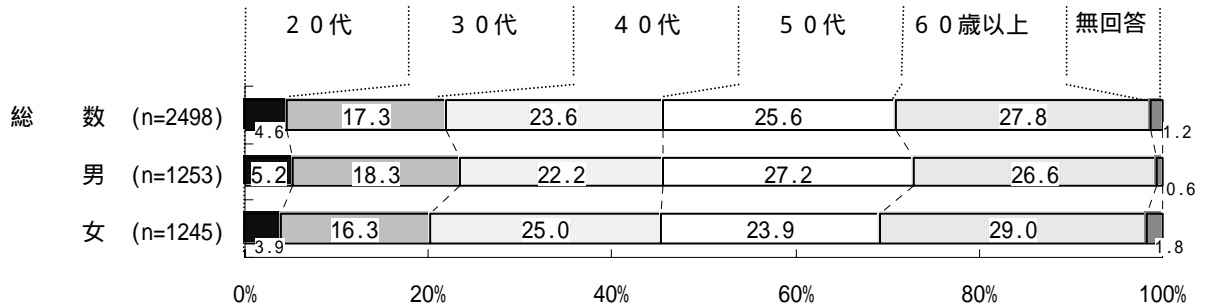


問6 あなたは、次のうちどれにあてはまりますか。



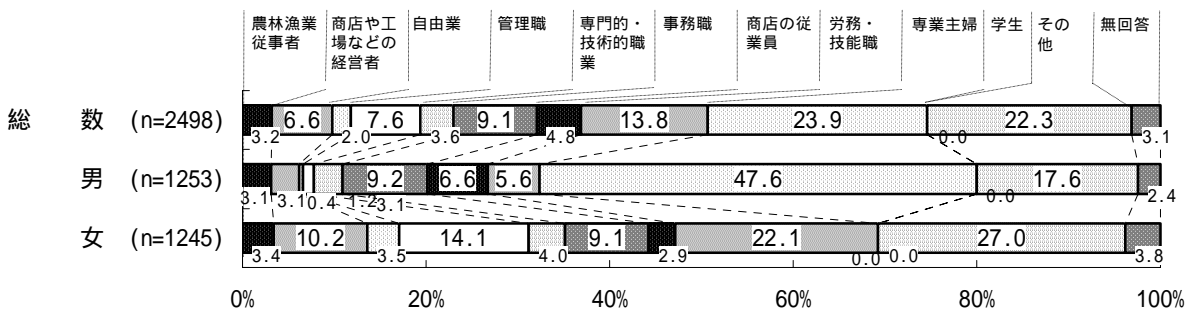
〔問6で1と答えた人（現在夫や妻のいる人）にお聞きします。〕

問7 あなたの現在の夫や妻（事実婚や別居中を含む）の年齢はおいくつですか。



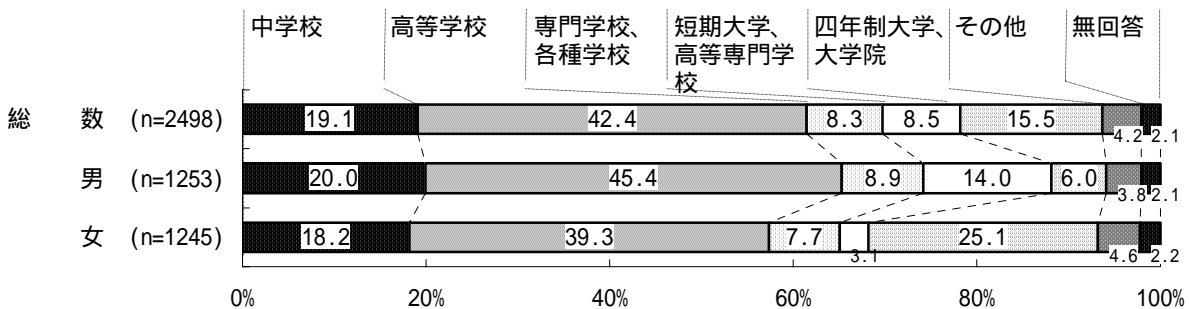
〔問6で1と答えた人（現在夫や妻のいる人）にお聞きします。〕

問8 あなたの現在の夫や妻（事実婚や別居中を含む）の職業は次のどれに当たりますか。



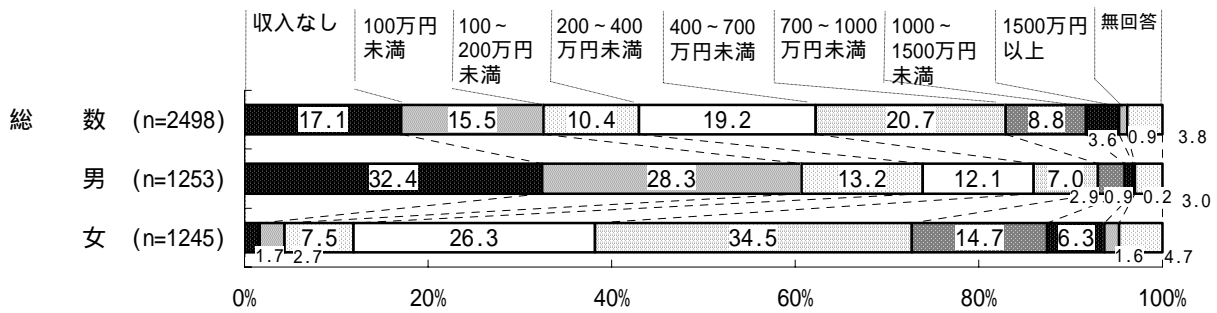
〔問6で1と答えた人（現在夫や妻のいる人）にお聞きします。〕

問9 あなたの現在の夫や妻（事実婚や別居中を含む）が最後に卒業した学校は次のどれですか。中退の場合は、最後に卒業した学校をお答えください。また、在学中の場合は、現在在学している学校をお答えください。



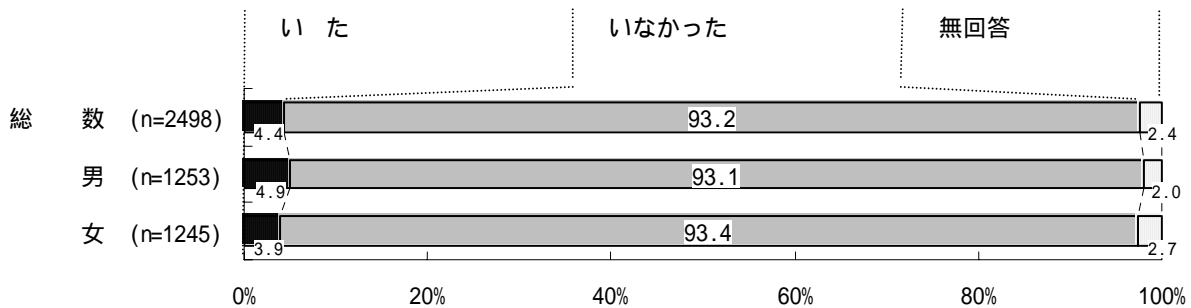
〔問6で1と答えた人（現在夫や妻のいる人）にお聞きします。〕

問10 あなたの現在の夫や妻（事実婚や別居中を含む）の平成10年中の年間収入（税込み）はいくらですか。年金や資産収入などすべての収入を含めてください。



〔問6で1と答えた人（現在夫や妻のいる人）にお聞きします。〕

問11 過去、あなたには、現在と違う夫や妻（事実婚や別居中を含む）がいましたか。



〔問6で1と答えた人（現在夫や妻のいる人）にお聞きします。〕

問12 結婚して（事実婚や別居中を含む）何年ですか。

